



- **社会共創・研究・教育の好循環による社会課題解決を志向し大学の機能を拡張、世界と伍して成長する公共財へと進化中**
 - 災害科学（2011年）を起点として、SDGs、パンデミック、カーボンニュートラルなど人類・社会課題に対する全学的取り組み
 - 世界に開かれた課題解決プラットフォームとしての大学へ
- **世界最先端研究を基盤としたデータ駆動型の社会価値創造**
 - 「計測科学」× データサイエンス
グリーン・生命科学：先端顕微鏡群と次世代放射光施設（2023年稼働、60PB/年）
 - 「大規模健常人バイオバンク」× データサイエンス
未来型医療創出：15万人住民コホート、30PB級のデータ解析基盤
 - 「超省エネルギー半導体・量子」× データサイエンス
 - 「災害科学・災害統計」× データサイエンス
- **経営が発展させる価値創造基盤**
 - ステークホルダーエンゲージメント（共創）、データ駆動による全方位DX
 - 青葉山新キャンパス（81万m²）：国立大初の自己資金整備（2017年完了、約260億円）
 - 次世代放射光施設整備（2023年稼働）のための攻めのファイナンス活動



● 研究者育成・支援

- 総長裁量経費により独立若手研究者を配置（200人）「プロミネントリサーチフェロー」称号を付与
- 全学統一共用設備の提供とD X（2020年）
- 博士課程学生に平均130万円支援（180万円へ）
- リサーチプロフェッサー制度などの各種特別制度、知的貢献費の制定



創発的研究支援事業：全国1位（2020年度 27件）

Highly Cited Researchers：国内大学2位（2021年度 9名）

● 人類の多様な可能性を拓く価値創造のプラットフォームとしての研究大学へ

**横断・融合・総合などの知のダイナミズムを主軸とする価値創造に挑戦
持続可能な挑戦を支える環境を整備**

- 柔軟な研究科や学位プログラム編成を可能とする制度、内部留保の仕組み創設、大学債の発行要件緩和（償還期間）と用途拡大（土地・建物以外へ）、出資対象事業の拡大、留学生に関する学費と定員の自由化

● 世界と伍するにはスピードが生命線